

各 位

株式会社Joshin コード:8173  
〒556-8550 大阪市浪速区日本橋西1-6-5  
2026年4月2日

## 2026年度 商号変更後初となる入社式を開催しました

ウインズ平阪さまがJoshinイメージソングを熱唱！

株式会社Joshin、2026年4月1日の商号変更日に参加型入社式を開催  
～新入社員の決意を乗せた「赤い紙ヒコーキ」が一斉テイクオフ～

株式会社Joshin(本社:大阪府大阪市、代表取締役兼社長執行役員 CEO:高橋 徹也)は、2026年4月1日(水)商号変更後初となる入社式を開催しましたのでお知らせいたします。

歴史的な節目となる本式典では、スペシャルゲストとして当社おなじみのイメージソングを歌うウインズ平阪さまをお招きし、「情熱をなくさないで Joshin ver.」の特別ライブを実施し、役員とともに大いに盛り上がりました。

さらに、新入社員が自身のなりたい姿や目標を記入した「赤い紙ヒコーキ」を、役員と共に一斉に飛ばすセレモニー「Joshin's Something Red 2026」を実施し、新たな門出を祝いました。



【日 時】 2026年4月1日(水) 11:00～12:30

【場 所】 なんばスカイオ 7階コンベンションホール

【入 社 人 数】 81名(Joshinグループ計)

本年度の入社式は歓迎の場にとどまらず、会社と共に新たな未来を切り拓くスタートラインとなる特別な日です。そこで、株式会社Joshinとして一期生の新入社員が主役となり、未来への飛躍を「自分ごと」として体感できる参加型の入社式を開催いたしました。

### ■「Joshin's Something Red」である赤い紙ヒコーキに込めた想い

欧米の結婚式における「Something blue(青いものを身につけると幸せになれる)」という習慣になぞらえ、コーポレートカラーである「赤」をテーマにしたポジティブなジンクス「Something Red」をコンセプトとして掲げました。「赤いものを身につけた私たちは、情熱を持って未来を切り拓ける」という想いのもと、誰もが参加できる形として、新社名を印刷した赤い折り紙を配布し、各々自由に紙ヒコーキを折る形式を採用しています。赤い紙ヒコーキには「新生Joshinの飛躍」と、守破離が示す「挑戦」という強いメッセージを込めており、これからの挑戦を支えるお守りとして持ち帰りました。

## 代表取締役 兼 社長執行役員 CEOメッセージ(要旨)

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。代表取締役兼社長執行役員CEOの高橋です。本日の出会いが、皆さんにとってもJoshinにとっても最高の出会いになることを心より願っております。

さて、皆さんは「株式会社Joshin」としての入社一期生となります。ご承知のとおり、当社は昨年6月に監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ機関設計を変更し、本日4月1日より、社名を「上新電機株式会社」から「株式会社Joshin」へ変更いたしました。これは、変化の激しい社会環境に対して柔軟かつスピーディーに物事を判断し、迅速な経営判断と柔軟な経営体制を実現することを目的としています。

私も40年前、皆さんと同じ席に座っておりました。当時はテレビの売れ筋がブラウン管の19インチで、14万円前後したVHSのビデオデッキが普及期を迎え、土日になると一人で10台くらいは売れる時代でした。デバイスの歴史を振り返ってみても、凄まじいスピードで変化が起きています。レコードがCDに変わるまで80年かかりましたが、ストリーミングにはわずか10年ほどで移行しました。スマートフォンは社会に革命的な変化をもたらし、既存デバイスをも丸飲みにしてしまうデバイスへと進化したのです。

世の中の情報量も爆発的に増えています。1990年にはわずか0.002ゼタバイトだった情報量は、AIや高精度動画が広がる2025年には、なんと9万倍の180ゼタバイトにまで膨れ上がっています。もう人間が受け止めることができない情報量が生まれています。このような変化が絶え間なく発生している業界において、従来のビジネスの延長線上に答えがないのは明白です。時代の変化に順応し、お客さまから高いご支持をいただき、安定かつ持続的な成長を実現していく。その会社としての姿勢を明確にするために、先ほど申し上げた機関設計と社名変更を行ったのです。

Joshinは「モノ」を売る会社から「価値」を売る会社への変革を目指しています。そして、「人を創る会社」であり続けたいと思っています。当社のキャッチフレーズである「まごころサービス」は、創業時より積み重ねてきた信用と信頼を育み、最も大切なお客さまとのリレーションシップを構築してきました。これは、これまでも、そしてこれからも、JoshinのDNAとして守っていかねばなりません。

私自身、ありがたいことに今でも入社当時からのお客さまに多くご利用いただいております。「親から子へ、子から孫へ」というつながりを実際に体験しています。皆さんは今後、それぞれの部署に配属されることとなりますが、人と人との出会いは、時にお金に換えることのできない価値を生みます。どうか一つひとつの出会いを大切に、社会人としての生活を送っていただきたいと思います。

ここで、新たに入社される皆さんに3つのメッセージを贈りたいと思います。

一つ目は、「感謝の気持ちと謙虚な姿勢」です。

上司、先輩、同僚、お取引先さまから色々なことを教えていただいた時、たとえ自分がすでに知っていることでも「ありがとうございます」と言える人であって下さい。自らの人間力を高めるためには、感謝の気持ちと謙虚な姿勢が絶対に必要だということを覚えておいてください。

二つ目は、「一日一日を大切にする」ということです。

一日が終わった時、今日は頑張れたかどうかを振り返り、自らを評価してほしいのです。頑張った自分がいたら大いに褒めてあげてください。もし頑張れなかった自分がいたら、それを自覚し、明日に繋げていただきたいのです。「今日は頑張れたか」という自覚の積み重ねは、1年後、2年後、5年後、10年後になった時、自覚してきた人とそうでない人との間に、途方もなく大きな差となって表れます。

三つ目は、「人から学ぶ」ということです。

現場には優れた上司や先輩がたくさんいます。上司や先輩は、皆さんにない様々な経験を積んできています。自分のためになるエッセンスをしっかりと吸収して、自らの成長速度を加速させてください。「感謝と謙虚な姿勢」「一日一日を大切にする」「人から学ぶ」。この3つを忘れず、素晴らしい社会人人生を歩んでください。

最後になりますが、本日から新たな中期経営計画「JT-2028 経営計画」がスタートします。この中では「守破離の精神」と「家電量販店版マチの電器屋」を謳っています。

「守」は、祖業である家電事業の基礎を徹底的に学び、あるべき姿を追求すること。

「破」は、家電事業の基礎を極めた上で、当社独自のビジネスモデル構築を目指すこと。これこそが「家電量販店版マチの電器屋」であり、モノに加えてコを売る、モノとコの融合から当社独自の価値提供を目指していきます。

そして「離」は、家電事業をベースとした事業領域の拡大、新規事業への挑戦を意味します。

祖業である家電事業で勝てない会社が、他の領域で勝つことはできません。守破離の精神に則り、「JT-2028 経営計画」の達成を共に目指していきましょう。

皆さんがJoshinのもとで良い人生を歩み、Joshinの看板のもとで定年退職を迎え、振り返った時に「良い人生だった」と思っていただけの会社であるために。今、何をしなければならないか、どうあるべきかを考え抜く経営を実践してまいります。

皆さんの力がが必要です。そして、共に頑張りましょう。  
本日は入社、誠におめでとうございます。

以上



報道関係お問い合わせ先:株式会社Joshin 経営企画部 広報担当  
TEL 06-6631-1122 <https://www.joshin.co.jp/>